



ほけんだより 2月号

おひさま岡町保育園 2024. 1. 31.

一年で最も寒さの厳しい季節となりました。2月4日は暦の上では立春です。春の始まりとされていますが、まだまだ厳しい冷え込みの日が続いています。気温が低く空気が乾燥すると、ウイルスが活動しやすい環境なので、室温と湿度に気をつけてくださいね。

コンコンッ！ 咳のかぜ、引いていませんか？

寒さが深まり、あちこちから咳が聞こえてきます。乾燥が原因の咳もありますが、ウイルス性のものは飛沫感染によって広がっていきます。咳エチケットを守り、咳が出ている時はマスクを着用しましょう。

おうちでのケア



洗濯物を干したり、加湿器をつけたりして、湿度を調節し、喉を潤しましょう。



咳がひどい時は、背中の下に枕やクッションを置くなどして上半身を高くしましょう。呼吸が楽になります。



麦茶や白湯など、刺激のない飲み物で水分補給をこまめに行いましょう。

《避難訓練 1.17.阪神淡路大震災》

南海トラフ地震の備えはできていますか？阪神淡路大震災から29年。また今年は元旦に能登半島地震が発生し、建物の倒壊などの被害がありました。

保育園では毎月防災訓練を行っています。子どもたちには、自分自身の身の守り方・災害から命を守る大切さをお伝えしています。9月号にも防災についてのお知らせをしましたが、もし自分が住んでる地域で災害が起こったらどうするか、どう備えておくか、事前の対策を家族で話し合ってみてください。

地震が起こった時、家具が倒れたり、棚の中身ガラスの破片が散らばったり怪我をする危険があります。周囲に机がなければ手で頭を覆って身体を小さく自分の身を守りましょう！



1月の感染状況

- ・インフルエンザA 本園 2人 分園 1人
- ・インフルエンザB 本園 1人
- ・溶連菌感染症 分園 1人

※近隣の小中学校でインフルエンザや新型コロナウイルス感染症での学級閉鎖の連絡を受けています。ご兄弟の方の体調もお伝えください。

ご参加ありがとうございました

1月19日講演会のテーマは、「ある小児科医が診たこどもの発達」でした。

松岡先生の学習会



- 発育**：身体のサイズ（身長・体重など）が増えること。
→数字で表すことができるのでわかりやすい
- 発達**：出来ることがふえること
→数字で表すことが難しいのでわかりにくい

こどもの「発達」は山登りに例えられます。山を登っていく経路や速さは自由ですが、できるだけ遭難せずに登ってもらうためには大人の見守りだけでなく、道しるべとなる伴走が必要な子もいます。

こどもの発達は年齢に応じた「ハードル」があります。3~4か月、1歳6か月、3歳ごろ・・・集団健診がこの時期にあるのは「発達」のハードルがあるからです。そして、ここ十数年で問題視されてきたのが「社会性の発達」です。4~5歳児、小学2~3年生、小学5~6年生の時期に「社会性の発達」の未熟さから集団生活においてトラブルが起こることがあります。

こどもの発達や就学に向けて不安のある方は、ご相談ください。

多動性・衝動性が表に出ている「あばれるさん」、空気がよめない（先生の指示が友だちの動きを見て把握している、話し手の意図が分からない、友達との言葉のラリーが続かないなど）・整理整頓ができない「ひっそりさん」・・・両タイプとも今の初等教育のやり方ではかなり過酷な環境に放り出されることとなります。こどもが集団の中で困りごとなく過ごしていくために、就学前のこの時期にそのこどもの得意・不得意を見極め、これからの手立てを見つけておくことが大人の役割だと学びました。

松岡先生のオススメ、夏目漱石「坊ちゃん」に出てくる主人公の家の下女 清（きよ）さんのように、認めてくれる大人は「親」だけである必要はありません。こどもの周りの大人、誰でもいいんです！

学習会が終わった後も保護者の方の質問の列が並ぶくらいの熱量でした。

そして、こどもは親の不安や迷いを敏感に感じます。発達障害の有無に関わらず、「こどものありのまま認める」「あなたは、あなたのままでもいいよ」「あなたがいてくれてうれしい」を繰り返し伝えることでこどもの自尊心（Self Esteem）を上げることが大切です。

（山口 感想）



2月の予定

5~9日 発育測定(乳児のみ)